静岡県議会議員 自民改革会議一期会 五輪会（いつわかい）

五輪会（いつわかい）とは
皆様から負託された県議会議員という重責を、初心忘れず切磋琢磨しあい、輪（和）を重んじながらも積極果敢に政治課題や地域課題に取組む仲間であり続けると誓い五輪会としました。

宮沢正美　中沢公彦　藪田宏行　落合愼悟　竹内良訓　中野弘道

◆宮沢 正美　三島市選出
http://www.miyazawa-masami.com

■ 経歴
- 県立韮山高等学校卒（20回）
- 三島市子ども会連合会会長
- 三島バレーボール協会事務局長
- 三島市立錦田中PTA会長
- 三島市議会議員（2期）
- 三島市議会副議長
- 自由民主党三島市支部幹事長

■ 22年度所属委員会・役職他
- 総務委員会副委員長
- 過疎・中山間地域振興特別委員会委員

◆中沢 公彦　浜松市東区選出
http://www.nakazawakimihiko.com

■ 経歴
- 城西大学経済学部卒
- 旧浜北市議会議員
- 国会議員秘書
- 城西大学同窓会静岡県支部長
- 県立浜名高校同窓会常任理事
- 社会福祉法人 遠州秋葉会監事
- 特定非営利法人 笠井共生活動センター理事

■ 22年度所属委員会・役職他
- 企画文化観光委員会副委員長
- 産業連携推進特別委員会委員

◆藪田 宏行　御前崎市選出
http://www.yabuta.info

■ 経歴
- 静岡大学教育学部卒
- 御前崎市教育委員長
- 御前崎町助役
- 御前崎町議会議員
- 御前崎町・浜岡町合併協議会幹事長
- 御前崎漁業協同組合専務理事
- 御前崎小学校中学校PTA会長
- 榛原高校PTA会長
- 静岡県PTA連合会理事

■ 22年度所属委員会・役職他
- 産業委員会副委員長
- 防災拠点強化特別委員会委員

◆落合 愼悟 藤枝市・志太郡選出
http://www.ochiai-shingo.jp

■ 経歴
- 静岡大学大学院人文社会科学研究科卒
- 藤枝市青少年連盟会長
- 藤枝法人会青年部会長
- 静大附属島田中学校PTA後援会長
- 日本青年会議所教育開発（委）副委員長
- 静岡県電気工事工業組合青年部会長
- 藤枝市議会議員（1期）

■ 22年度所属委員会・役職他
- 厚生委員会委員
- 過疎・中山間地域振興特別(委)副委員長
- 議会運営委員会委員
- 広報委員会委員

◆竹内 良訓　浜松市中区選出
http://www.takeuchi-yoshinori.com

■ 経歴
- 専修大学経営学部卒
- NPO法人理事
- 元衆議院議員公設第一秘書
- 浜松市立蜆塚中学校PTA顧問
- 浜松市広沢小学校PTA顧問
- 浜松西高校同窓会副会長

■ 22年度所属委員会・役職他
- 自民改革会議事務局長
- 文教・警察委員会委員
- 防災拠点強化特別委員会副委員長

◆中野 弘道　焼津市選出
http://hi-nakano.jp/

■ 経歴
- 明治大学商学部卒
- 焼津商工会議所顧問
- 焼津市体育協会常任理事
- 県立焼津中央高同窓会豊友会会長
- 焼津市立大村中学校学校後援会会長
- 焼津市立大村中、焼津西小PTA会長
- 焼津市議会議員（2期）、副議長

■ 22年度所属委員会・役職他
- くらし環境委員会副委員長
- 就航地交流推進特別委員会委員

県議会会派　自民改革会議の活動・県政施策

ホームページ　http://www.jiminkaikakukaigi.net/ideology.html

ホームページ制作	自民改革会議ホームページを開設しました。
会派事務所当番制	会派議員控室に当番議員を配置しました。
新規条例提案	4月県消防団員支援条例を提案しました。
茶産業凍霜被害対策	4月知事に茶凍霜被害に対する支援要請。
提出意見書	6月選択的夫婦別姓に関する意見書提出。
議員定数削減	定数74人から69人に決定。（会派提案は67人。）

川勝知事に会派の要望提出

会派勉強会（予算内容）

自民改革会議所属議員18人（5月末）

五輪会視察　5月11～13日　福井県・石川県視察

若狭湾エネルギーセンター

陽子線がん治療装置

【若狭湾エネルギー研究センター】福井県敦賀市
小林紘二郎所長から研究センターの概要について説明を受けた。
福井県は「もんじゅ」など原子炉が14基あり原子力関連施設が日本一。
平成12年にシンクトロン（加速器）の運用開始。イオンビームによる細胞や遺伝子に変化を与え新しい農作物などの品種を生み出す農業生産技術研究。
チタンやマグネシウム合金にイオンビームを照射し耐久性の高い眼鏡フレームを作る研究や陽子線によるガン治療などを研究している。

ハイテクファーム武生工場

工場長とともに

【農業組合法人ハイテクファーム武生工場】福井県越前市
ハイテクファーム武生工場は葉野菜を衛生管理された工場で生産。
低料金の夜間電力を利用した照明栽培。自動化された水耕装置による完全無農薬で青梗菜などの葉野菜を生産している。
まだ生産設備経費が大きいため、初期投資は補助金に頼るしかない。生産経費の30%が光熱費と課題はあるものの天候に関係なく一年中生産可能で生産・販売計画が立てやすい。新時代の農業として期待する。

福井県教育委員会

先生用の授業名人ビデオ

【子供たちの総合的学力をのばす学校教育授業名人活用事業】福井県
福井県は学力テスト中学1位、体力テスト小学1位と学力・体力トップクラス。
福井県は3世代同居率30%で全国一、共働き率も55%で全国一の家庭環境。
お爺さんお婆さんが県の小学校支援ボランティアとして5千人登録され、1年各クラスに支援員として配属。近所の子供たちの教育の面倒をよく見ている。
授業名人ビデオ活用事業は年に2人の授業名人先生を推薦して、授業名人公開授業ビデオを作成。先生は自分で教材を工夫して作り、分かりやすい授業を心がけている。各学校では新人教師だけでなく授業研究に活用している。

石川県議会事務局

石川県庁

【ニッチトップ企業育成事業】石川県
石川県産業革新戦略に基づき、ニッチトップ企業への発展など飛躍的に成長するモデル企業 を輩出する。県経済を牽引することが期待される企業を育成し、本県産業全体の 対外的競争力の向上を目的として実施、支援している。
育成事業の対象企業は 高い技術力や独自の技術、ノウハウ等を有し、飛躍的な成長が見込まれる県内に本社を有する企業。

自民改革会議視察　3月29～30日　福岡県視察（八女茶・農産物輸出・水素エネルギー）

農業法人みどり園大渕

農業総合試験場八女分場

八女星野村「茶の文化館」

福岡農産物通商㈱社長説明

みどり園荒茶工場組合長より八女茶の概要。品種や奥地によって茶刈時期を変え乗用型機械で効率化を推進。
農業試験場では玉露乗用型摘採機、被覆加工技術と黄色灯やフェロモン剤で減農薬栽培、点滴かん水施肥法等説明。
星野村『茶の文化館』は八女茶の歴史。玉露を「しずく茶」として茶碗に盞をして飲み、茶葉は酢醤油を掛けて食べた。
県庁で平成16年から開始の「水素エネルギー戦略」説明。九州大学伊都キャンパスと北九州の製鉄所等と共同研究。
福岡農産物通商㈱は県と経済連が共同で2008年12月設立。商標「丸福」で欧米アジアに八女茶・苺・梨・ぶどう等輸出で、今年輸出20億円。独・仏で八女茶セミナー開催・残留農薬分析の実施、米国に苺輸送実証実験・ロスで八女茶PR。

自民改革会議視察　4月15～17日　鹿児島県視察（知覧・種子島・霧島　鹿児島茶生産状況）

●鹿児島県農業開発総合センター　佐藤昭一茶業部長より鹿児島茶の現状説明を伺う。昨年は寒い日が多く、葉の緑色が悪いため今年は被せ茶が多くなった。このため色も良くなり、苦味も少なく旨味が増した。茶業後継者は比較的多く確保されている。
知覧松山地区の菊永生産組合では、雨の中大型常用茶刈り機で作業していた。約150haの茶園を合理的に経営している。

●種子島茶生産組合　西之表市古田地区は静岡県小笠郡から移住して茶園栽培を始めて昨年で100年。新茶生産が日本で一番早い。
近代化荒茶加工施設では葉の硬化を防ぐためにも雨でも操業している。10種類の品種で約60町歩栽培している。
新しい手法の水出し煎茶は素晴しい香りと味であった。入植100周年記念碑や入植したお宅、茶園を見学した。

●JAあいら製茶工場　3日前から一番茶の最盛期が始まった。管内の茶園は800町歩、茶工場76、内3工場がJA。JAの取扱高1700t、茶価も安く、資材も高騰し、農家の手取りは減収となった。140の圃場ではさえみどり等4品種が主で時期の組合せを工夫している。

7月15日県議会傍聴と西ヶ谷清掃工場視察会

議場で質問中の落合県議と熱心に聞く川勝県知事

110人の議会傍聴者と県議会棟正面玄関にて記念写真

静岡市西ヶ谷清掃工場

県知事は真剣に答えてくれた

議会一般質問と答弁要旨

1. マニフェストの具体化について

①歳入歳出の改革　（知事）

県税増収への取組と新たな県収入の確保策を伺う。
　市町と協働した税収の確保、有料広告の導入や新規収入確保策を着実に実現を図っていく。
コスト表示した新たな業務棚卸表が必要に思うが伺う。
　3月に指摘され、行政サービスに掛る経費が分かるように、業務に対応した事業費を表示すべく改善を図った。
知事の予算を使い切る単年度主義を改める制度を伺う。
　昨年度試行し、約4億円の効果があった。本年度から本格的に導入をする。

②教育改革　（教育長）

福井県は少人数学級に否定的で小学学級に老人教育サポーターを導入し、先生を支援している。真似たらどうか。
　外部の人材活用は積極的に推進していきたいと思う。
学力テスト結果は全国トップとの差を明示し改善すべき。
　平均意識を改善して全国を分析し、対応を図っていく。

③食と農の改革　（知事）

政府発表の食料自給率は不信感がある。知事の評価は。
　カロリーだけで偏った見方は根本的に反省し、独自の食料安全対策を打ち立てたいと思う。
静岡県独自の食料供給力を高める食と農の改革を伺う。
　静岡県は食材王国である。食を餌として食べるのではなく農作物を作り料理する「食文化」として育てていきたい。

2. 静岡空港の藤枝駅バス路線　（文化観光部長）

空港に関して焼津市・藤枝市が無視されている感がある。
FDAの寮がある藤枝駅にバス路線が必要と思うが伺う。
　利用見込みと道路の整備状況を勘案し研究していく。

7/20～21　厚生委員会で質問と答弁要旨

1.生活保護の状況

静岡県379万人の内、23,825人が生活保護を受けている。
申請件数も毎月400～500人と昨年の倍増した。保護内容と生活保護費が国民年金受給額より多いと言われるが伺う。
　昨年からの不景気で高齢者、母子家庭が増加している。70歳の場合、住宅補助別で月最高62,130円、夫婦で92,460円受給される。国民年金受給約6.6万円である。

2.静岡中央児童相談所の移転

議会質問で中央相談所を志太榛原に移転検討と答弁あったが、児童相談所と一時保護施設の距離は規定があるか。
　志太榛原地域の市町と協議し、進めるが相談所と保護施設の距離は現在2km離れているが、規定は無く状況による。

3.保育所待機児童と認定こども園青島保育園

県内の保育園待機児童は193人で藤枝市は26人いる。藤枝市に認定こども園青島保育園が23年開園されるが、幼稚園は文科省、保育園は厚労省と管轄が違う。入園決定も10月と2月と違う。県は新設こども園の窓口ができているか伺う。
　県は幼稚園を文化観光部私学振興課、保育園を健康福祉部子育て支援課が担当で窓口は子育て支援課が行う。まだ法的問題や細部の調整があるが兄弟で別の保育園に通うことが無い様、地域、園に合わせた運営を配慮し指導する。

4.食の安全確保対策の推進

昨年の食中毒発生件数30件、患者数760人でノロウイルス患者が64.2%。食品衛生法許可者7.5万者の内、組合員未加入3.5万者の食品安全指導はどのようにしているのか伺う。
　講習会指導と抜打ちの店内立入り検査を行なっている。

5.自殺総合対策の新たな取り組み

県内自殺者数は804人で50代のうつ病自殺が多い。県内5地域で先駆的な取組情報交換や地域に合った対策を行なう。モデル事業で自殺死亡者数減少全国一位を目指す。

6.特別養護老人ホームの入所希望者の状況

県内特養195施設の入所希望は30,308人で実人数10,219人、藤枝市は6施設定員400人、希望1,486人、実人数358人。

7.療養病床の転換意向等調査

介護療養病床を24年3月末で廃止のため103の医療機関に意向調査をした。転換先は医療療養病床83、老健7、その他4未定45である。未定理由は色々。報酬改定方向判断が多い。

8.介護人材の確保対策

県内22年度老人ホーム等、新規介護施設は117施設、2,286床、雇用者数1,983人である。給与額は全産業294.5千円、介護員201.6千円と低賃金のため交付金46億円を予算化した。

3. 志太中央幹線の整備　（交通基盤部長）

志太中央幹線の天王町から国1号まで事業化に向けて調査が進んでいる。更に国道1号～上青島焼津線までの1.8kmを伊久美藤枝線の付替えで整備ができないか伺う。
　左車地区の進捗状況と今後の交通状況を見ながら藤枝市と整備手法、事業主体等について検討していく。

4. 児童虐待　（健康福祉部長）

県内の児童虐待相談件数が過去最高の1,107件に上る。
5月に函南町で1歳幼児の虐待死亡事件が発生している。
児童相談所の児童虐待対応をどう支援していくのか伺う。
　反省に立って、児童虐待防止のため市町の要保護児童対策地域協議会の設置を促進し支援していく。
また4月に富士地区に開設した。静岡中央相談所が志太榛原地区担当になった。藤枝など所轄区域内移転配置はメリットが大きいため移転先案の一つと考え調整を図る。

5. 景気対策　（経済産業部長）

全国で43万人も入所できず困っている老人ホーム建築を促進すれば建築に関する経済波及効果で地域は潤い雇用対策にもなる。本当の意味の景気対策について伺う。
　6次産業の振興、環境医療福祉分野に進出企業支援と共に老人ホームを中心に可能な限り施設整備を行なう。

6. 農産物の輸出　（知事）

福岡県ではJAと共同で貿易会社を設立して農産物輸出に取組んでいる。本県の農産物輸出の取組を伺う。
　福岡県の農産物輸出会社を知らなかった。参考になる。空港に楽座を問もなく作る。ANAと協力し、シンガポール駐在員に市場調査をさせ、農産物の紹介や販売をしていきたい。フードサイエンスプロジェクトは県大研究グループが企業と一緒に科学的に基礎付けをしてやっている。食の都づくりを本格的に来年から邁進していく。協力を願う。